



つボイノリオさん、小高直子さんと  
一宮西病院のドクターによる健康対談企画

# 健康のつボ!

【聞き手】つボイノリオ(タレント)、小高直子(CBCアナウンサー)  
【解説】たつみ一郎医師(一宮西病院)



解説

一宮西病院  
整形外科部長  
著書  
『100年足腰』  
(サンマーク出版)

たつみ いちろう  
異 一郎 医師

## ひざ関節の痛みについて

日本人の多くのご高齢の方が悩んでいる「ひざ関節」の痛み。手術だけではなく「切らずに治す保存療法」に力を入れてきている整形外科医・一宮西病院・整形外科部長のたつみ一郎先生にお話を伺います。

第12回

余計なところを切らない手術

**小高** ひざ関節痛について第12回！お話を伺うのは一宮西病院・整形外科部長のたつみ先生です。人工関節のお話をずっと聞いてますが、人工関節の手術にも2種類あって、一つが関節全てを置き換える全置換術、軟骨のすり減った片側だけを置き換える半置換術、この二つがあるよということでした。

**つボイ** 中でも半置換術というのは切る部分も少ないですし、手術にかかる時間も短いというお話でした。

**小高** 全置換術でも半置換術でも、筋肉を切らない「低侵襲手術」という術法があるようです。そのあたりのお話、たつみ先生です。

**たつみ** MISっていうんですけど、ミニマム最小のインベジションIIやつつける、サージエリーII手術……っていうんですけど、結局は余計なところを切らんっていうことなんです。

**つボイ** 僕らみたいに手術が怖い人間にとっては、諸手を挙げてお願いしたいわ……って思いますけどね。

**たつみ** でも最初のうちはね、ちっちゃい傷でやってね、よく見えないからよけい時間がかかったりしている、最初の創始期はそうやったんです。特にひざは難しんで、ようけあけんとダメやっていう学会のね、お話もあります。

**つボイ** ようさん開けた方がやりやすいですね。

**小高** 人工関節の、悪いところだけ半分でっていうよりは、がばっと全部、はいガシーンの方が、手術的には間違った。そういう先生はいっぱいいます。

**小高** それと同じように低侵襲の手術も患者さんの負担は少なくなるけど、先生の負担は大きい。

**つボイ** だけでもやっぱりだんだん発達してきて、がばつとせんでもええようになつてきたわけですよね？

**たつみ** そこにはね、コンピュータをつこうたりね、要するにまだ切っていない、見えへんところも見えないようにする技術とかね、それはコンピュータアシストっていうんですけれどね、術前計画

て言って、手術する前に「この後ろにはこれがあるはずや」って、全部僕ら一回、コンピュータの中で手術終わっちゃうんですよ。どの患者さんでも、メス入れてから切る間は考え事しないで、「この患者さんはこことこことここがポイント」ってわかってやることで早くなって、筋肉を傷つけないと手術できるよになつてきてるんです。

**つボイ** 筋肉を切ると切らんとではだいぶ違うんですか？

**たつみ** そうなんです、筋肉っていうよりも、筋肉の膜が大事なんです。筋膜ってね、透明な薄っぺらい膜なんですよ。でもそこに血管と神経がいっぱい入ってるんですよ。その筋膜を少し切っただけで、腫れが長いんです。筋膜を全く切らんでできたら、患者さん、術後の腫れがものすごく少ないんですよ。

**つボイ** そうするとやはり、回復も早いということですよ？

**たつみ** 筋肉も力が入るから、早期の筋力が違うんですね。

……すね。

**小高** 低侵襲手術は、術後の治りが早いっていうのは患者さんにとってはありがたいですよ。

**つボイ** 心臓手術であれ脳手術であれ、「低侵襲手術」という言葉はよく出てきませんか？ひざの手術にも低侵襲手術、これがあるということですね。

**小高** さあ次回も、たつみ先生にひざ関節痛に関するお話を伺います。「健康のつボ」ひざ関節痛について、「一宮西病院・整形外科部長のたつみ一郎先生でした。

ひざの痛みで外来受診を希望される方(初診)は、完全予約制となります。  
【対象患者さま】①初診の方 ②膝の痛みを診てほしい方  
詳しくはこちらまでお問い合わせください。  
→予約専用ダイヤル TEL.0586-48-0026  
受付時間:平日/9時~17時、土曜/9時~12時

次回折込は2月16日(水)を予定しております。ご期待ください。  
※折込日は予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください。